

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.9
Q1 室内環境								3.5
1 音環境			0.40					4.2
1.1 騒音		外部の交通騒音等に配慮した外壁、建具仕様を採用	4.2	0.15	-	-		4.2
1.2 遮音			4.0	0.40	-	-		
1.2.1 開口部遮音性能		外部に面する建具、遮音を要する建具:T-3等級程度	5.0	0.40	-	-		
1.2.2 1 界壁遮音性能		遮音壁性能:50dB以上	5.0	0.60	3.0	-		
1.2.2 2 界壁遮音性能			5.0	0.40	3.0	-		
1.2.2 3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-	3.0	-		
1.2.2 4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音			3.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境			3.0	0.35				3.0
2.1 室温制御			3.0	0.50	-	-		
2.1.1 1 室温			3.0	0.38	3.0	-		
2.1.1 2 外皮性能			3.0	0.25	3.0	-		
2.1.1 3 ゾーン別制御性			3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御			3.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式			3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境			3.2	0.25				3.2
3.1 昼光利用			1.8	0.30	-	-		
3.1.1 1 昼光率			1.0	0.60	3.0	-		
3.1.1 2 方位別開口			-	-	3.0	-		
3.1.1 3 昼光利用設備			3.0	0.40	3.0	-		
3.2 グレア対策			3.0	0.30	-	-		
3.2.1 1 昼光制御			3.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度		主要事務室:600lx以上確保	4.0	0.15	3.0	-		
3.4 照明制御		照明ゾーニング制御、外部は自動点滅	5.0	0.25	3.0	-		
4 空気環境			4.0	0.25				4.0
4.1 発生源対策			5.0	0.50	-	-		
4.1.1 1 化学汚染物質		建築材料:全て☆☆☆☆、竣工完了時に科学部室濃度測定を実施確	5.0	1.00	3.0	-		
4.1.1 2 アスベスト対策			-	-	-	-		
4.2 換気			3.0	0.30	-	-		
4.2.1 1 換気量		中央換気設備、居室換気量:30m ³ /h人以上	4.0	0.33	3.0	-		
4.2.1 2 自然換気性能			1.0	0.33	3.0	-		
4.2.1 3 取り入れ外気への配慮		外気取り入れ口は各種排気口から6m以上離隔	4.0	0.33	3.0	-		
4.3 運用管理			3.0	0.20	-	-		
4.3.1 1 CO ₂ の監視			3.0	0.50	-	-		
4.3.1 2 喫煙の制御			3.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				0.30				4.5
1 機能性			4.7	0.40				4.7
1.1 機能性・使いやすさ			4.3	0.40	-	-		
1.1.1 1 広さ・収納性		執務スペース12m ² /人以上	5.0	0.33	3.0	-		
1.1.1 2 高度情報通信設備対応		事務室はOAフロア、コンセント容量:40VA/m ² 以上	4.0	0.33	3.0	-		
1.1.1 3 バリアフリー計画		バリアフリー法、福岡市福祉のまちづくり条例の誘導基準を満たし認定取	4.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性			5.0	0.30	-	-		
1.2.1 1 広さ感・景観		主要事務室の天井高:3.5m	5.0	0.33	3.0	-		
1.2.1 2 リフレッシュスペース		ラウンジ、自販機コーナーを設置	5.0	0.33	-	-		
1.2.1 3 内装計画			5.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理			5.0	0.30	-	-		
1.3.1 1 維持管理に配慮した設計		ほこり溜まり等が生じにくい設計とし、材料は防汚性の高い物を使用。	5.0	0.50	-	-		
1.3.1 2 維持管理用機能の確保		十分な広さの清掃用具庫を設ける計画とする。	5.0	0.50	-	-		
1.3.1 3 衛生管理業務			-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性			4.3	0.30				4.3
2.1 耐震・免震			5.0	0.50	-	-		
2.1.1 1 耐震性		免震構造及びその上部の構造によって十分な耐震性を確保	5.0	0.80	-	-		
2.1.1 2 免震・制振性能		中間・基礎免震構造	5.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			3.2	0.30	-	-		
2.2.1 1 躯体材料の耐用年数		住宅の品質確保の促進に関する法律で等級3相当の材料を使用	3.0	0.20	-	-		
2.2.1 2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		20年以上想定	3.0	0.20	-	-		
2.2.1 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		20年以上想定	5.0	0.10	-	-		
2.2.1 4 空調換気ダクトの更新必要間隔		20年以上想定	3.0	0.10	-	-		
2.2.1 5 空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	0.20	-	-		
2.2.1 6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20	-	-		

2.4 信頼性			4.4	0.20	-	-	
1	空調・換気設備	災害時対応が可能な系統分け、熱源の分散化、二重化、バックアップ	5.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水機器の採用、災害時の上下水対応、中水利用	5.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用発電設備及び引込の2重化により事業継続性に配慮	5.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	通信手段の多様化、MDFは4階設置、災害時有線電話・衛星通信電	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			4.4	0.30	-	-	4.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率<0.1	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり		使用用途に対してゆとりのある荷重設定	5.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.8	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	更新、メンテナンススペースを確保	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	機器更新用マシーンハッチを設置	5.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	機器毎に確保	4.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.1
1	生物環境の保全と創出	既存樹の移植利用、緑化によるオープンスペースを設置	3.0	0.30	-	-	3.0
2	まちなみ・景観への配慮	既存建物デザインの踏襲及び周辺建物ボリュームへの調和	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	既存建物の利活用、展示コーナー・展示室を設置、防犯用カメラ設置	5.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.7
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI=0.9	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 0.78 住宅(専有部) -	4.0	0.50	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI=0.9	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			4.0	0.20	-	-	4.0
1.1	節水	節水機器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			4.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水利用設備有	4.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	便器洗浄水等に利用	4.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.60	-	-	2.9
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	ユニット部材等の採用により容易に分別再利用が可能	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.8	0.20	-	-	3.8
3.1	有害物質を含まない材料の使用	有害物質を含まない材料の積極的な使用	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.70	-	-	
1	消火剤	泡消火設備設置	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		LCCO2 50%以下	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			3.7	0.33	-	-	3.7
2.1 大気汚染防止		燃焼機器なし	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制	福岡市建築物に於ける駐車場の附置条例に基づく適切な駐車場、駐輪場を確保	5.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	福岡市廃棄物保管に基づくゴミ置き場を設置	4.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			1.6	0.40	-	-	
1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害に配慮した照明計画、広告照明なし	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	